

令和4年度  
浦添市てだこ市民大学

事業報告書

令和5年3月  
市民協働・男女共同参画課



てだこ市民大学

## 目 次

1 講座の実施状況	.....	1
2 目標の達成状況	.....	3
3 講座等の記録（第1回講座）	.....	4
（第2回講座）	.....	8
（第3回講座）	.....	11
（第4回講座）	.....	14

### 【参考資料】

浦添市てだこ市民大学実施要綱

令和4年度浦添市てだこ市民大学実施要領

浦添市てだこ市民大学沿革

# 1 講座の実施状況

## (1) 概要

本市では、平成30年3月に策定した第四次浦添市まちづくり生涯推進基本計画において、「『まちづくり協働』による『共生・循環型社会』の実現」を取組方針として掲げ、「『てだこ市民大学』の拡充と講座の充実」を取組内容の一つとしました。

令和4年度の浦添市てだこ市民大学(以下、「市民大学」)は、これまでの実績を踏まえ、「市民とともに考えるまちづくりうらそえ」をテーマに講座を開催しました。昨年度は、コロナ禍に対応していくため、市民大学のオンライン化へ向けた取り組みを始め、Zoomを使ったライブ配信や録画配信の講座を開催しました。今年度においては、三密(密閉・密集・密接)を避け、150名収容可能なハーモニーセンターのホールにおいて、ソーシャルディスタンスを保ちながら、講座を開催いたしました。

## (2) 期間(講座数)

令和4年7月～令和5年1月(4講座)

## (3) テーマ、目的と目標

### 【テーマ】

市民とともに考えるまちづくりうらそえ

### 【目的】

- ① 協働によるまちづくりを学ぶ
- ② まちの安全を考える
- ③ 「うらそえ」のまちを知る

### 【目標】

- ① 協働によるまちづくりを学び、当事者意識をもつ
- ② まちの安全を考える機会を通してまちづくり生涯学習のきっかけつくる
- ③ うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く

(4) 令和4年度 浦添市てだこ市民大学の講座一覧

回	日時	講座内容		受講方法
1	2022年 7月9日 (土) 14:00～ 16:00	基礎講座 ① 学長講話  ② 「みんなの浦添のために“私が”できることを考えよう」  受講者数:24名	市民協働によるまちづくりについての学長の体験談 講師：浦添市長 松本 哲治 氏 ○情報の収集と発信や多文化共生、防災、パーラー公民館に関する若狭公民館の実践的活動 講師：若狭公民館長 宮城潤氏 ○社会福祉という観点から、地域課題解決のための社会資源の創出の重要性と実践報告 講師：浦添市社会福祉協議会 石原 宏紀 氏	集合型
2	2022年 8月27日 (土) 14:00～ 16:00	「その時どうする？防災の基礎を学ぶ」  受講者数:7名	○日頃の防災意識の向上を図る。 ○台風／高潮などの対処法や防災グッズのことを知る。 講師：防災サポート沖縄 理事長 長堂 政美 氏	集合型
3	2022年 11月26日 (土) 14:00～ 16:00	「地域資源としての浦添の歴史と文化」  受講者数:13名	○文化遺産に触れ、地域資源の保全と活用に繋げ、まちづくりへの活用の一助とする。 講師：琉球歴史文化コンサルティング 代表コンサルタント 古塚 達朗 氏	集合型
4	2023年 1月28日 (土) 14:00～ 16:00	「立ち寄りたくなるまちにする！－首里城とその周辺－」  受講者数:12名	○首里城と、その周辺地域での地域おこしについて、指定管理者や企業、友の会、個人の関わり方について学び、浦添のまちづくりに活かす。 講師：一般財団法人 沖縄美ら島財団 輝 広志 氏 講師：株式会社国建 新里 涼子 氏	集合型

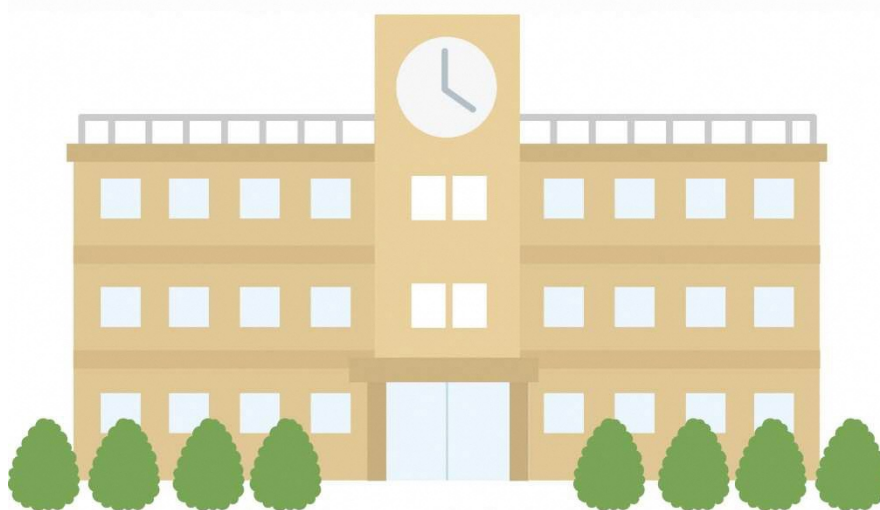
## 2 目標の達成状況

令和4年度浦添市てだこ市民大学実施要領に基づき、目標の達成状況を把握するため、受講者に対するアセスメントを行いました。アセスメントの結果（年度平均）は以下の通りです。

	項目	評価
1	うらそえのことが好きだ	4.5
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.9
3	地域の課題に興味を持った	4.5
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.3
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.3
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.2
	評価平均	4.3

\*評価の基準：5（とてもよくあてはまる） ⇔ 3 ⇔ 1（全くあてはまらない）

アセスメントは、講座受講後のみ評価となっています。6項目とも中央値3を超えており、評価平均も4.3となっているので年間を通して良好な評価であったことがうかがえます。次ページ以降に各講座のアセスメントと講座内容のアンケート結果を記します。



### 3. 講座等の記録

#### 第1回「みんなの浦添のために“私”ができること」

令和4年7月9日(土) 14:00~16:00

講師:宮城 潤 氏 / 石原 宏紀 氏

参加者 26 名

#### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価(回答数 15 件・無記入 2 件)

	項目	評価
1	うらそえのことが好きだ	4.3
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.3
3	地域の課題に興味を持った	4.6
4	地域の課題は自分のことだと感じる	3.9
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.7
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.7

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①非常に勉強になった。

②内容、講師の話 わかりやすかったです。

ありがとうございました。

③地域づくりに関わりたいと思いました。

④地域の課題解決として難しく考えるのではなく、「楽しみを見つけ、楽しんでやる」ことが大切だと感じた。

⑤とても良かった。

⑥地域のつながりについてもともと関心はあったが、行動したことがなかった。公民館や各コミュニティのとりくみを知り、自分にできることは何か?と深く考えるきっかけになったと思います。

⑦楽しめるまちづくりを学びたいと思います。

⑧それぞれの地域課題の取り組みを知ることができてよかった。

- ⑨楽しくつながることの大事さを双方から感じました。やりたいを形にしていくことって、前向きに計画してすすめること大変だけど、わくわくすることなんだなと思いました。
- ⑩講師お二人共楽しむこととおっしゃっていたことが印象的です。

2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①ゆるっと参加できるボランティア登録などほしいです。
- ②定期的に市民が自由に集まり話し合う場作り
- ③すきなことで集まる仲間づくり(み近な)ができるといいなと思いました。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。(自由記入)

- ①LGBTQ+
- ②多文化共生
- ③地域包括ケアシステムとまちづくり
- ④自治会加入率が20%を切っている浦添や小学校区まちづくり協議会の取り組みについて
- ⑤地域と貧困問題をとおしてのまちづくり。

欄外

- ①何を書いていいのか、市民大学が何を目指しているのか、わからなかった。質疑応答のやり方に疑問。申し訳けありません記入できませんでした。

## 質問内容

- ①両先生に質問です。仕事柄いつもボランティアをやってくださる方を探していますが、現状として高齢の方いつも同じ顔というように、若い方、多種多様な方とのつながりが作れません。どのようなアプローチの仕方があるのか、教えてください。
- ②両先生に質問です。新たな事業・試みをスタートさせる時には、「楽しみながら」とは言え、やはり多くの障害や「壁」があったのでしょうか。よろしければ、それらをお聞かせください。また、どのようにそれらを乗り越えたのかもお聞かせいただくと幸いです。また、石原先生に質問です。BeeFreeのバックで流れていた曲はオリジナルですか？(世をしのぶミュージシャン)

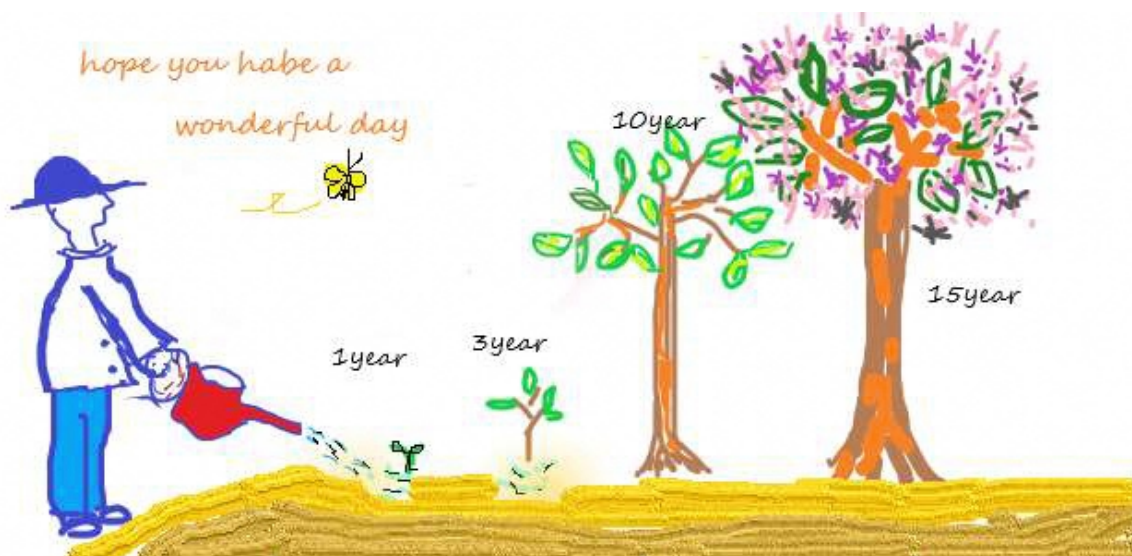
③両先生に質問です。協働について、楽しみを見つけることができても、課題解決ができない場合、どのようにしていますか？継続していますか？

④宮城先生に質問です。曙地区（パーラー公民館）の住民が最初「協力しますよ」という立場だったのか、「自分たちでやろう」となったことについて、何が意識を変えたと思いますか？どんな仕掛けがありましたか？

⑤宮城先生に質問です。今、中日や台湾有事が叫ばれ、市民がいつでも安心して安全な、市民協働まちづくりの基礎は外との日平和友好を、民間レベルで進めることが大事だ。

日中友好協会との民間レベルでのつながりはありますか！

⑥宮城先生に質問です。NPO 法人前島アートセンターの活動内容を教えてください。公民館館長に就任したきっかけを教えてください。楽しむひけつがあれば教えてください。





### 【学長講話】

令和4年7月9日土曜日、松本哲治学長動画出席のもと、令和4年度浦添市てだこ市民大学が開講されました。市民協働によるまちづくりについて、学長の体験などの講話がありました。

今年度のてだこ市民大学は、開講式直後の第1回講座から、令和5年1月の閉講式を含め全4回の講座を予定しています。



### 【第1回公開講座 市民協働まちづくりって、な～に？】

市民協働によるまちづくりについて、那覇市若狭公民館長の宮城潤氏と、浦添市社会福祉協議会の石原宏紀氏の講演がありました。宮城氏は、「広報」=情報発信と「公聴」=情報収集の重要性を指摘したうえで、若狭公民館における防災の取り組みや、ネパール人コミュニティとの交流(多文化共生)、パーラー公民館の活動を通して、「想いや特性を活かした協働事業を行うことでネットワークが広がると同時に、エンパワーメントされ、自発的・主体的な活動が連鎖していく」と指摘しました。最後に①地域課題の「現状把握の段階で協働」すること、②「互いの強みや資源



を理解すること」、③「自発的に関わりたくなる魅力を生み出すこと」、④信頼関係を構築すること、⑤楽しむことの重要性をあげていました。石原氏は、少子高齢化の加速化などにより、地域課題が増えるなかで地域を支える担い手が減少することについて触れたうえで、地域における多様な人材と協働し、地域課題を解決するための新たな社会資源の創出が必要であると述べました。そして、福ふく会とBee Free Laboの活



動を紹介したうえで、「一人ひとりが課題を持っていること」と「地域自治会を巻き込むこと」の重要性について指摘しました。最後に、まちづくりとは、自分とは違う誰かと一緒に新しい物語をつくりあげ、そのために一人ひとりがもつ物語に対して共有・共感することが大切であると結論づけました。

参加者からの感想としまして、自分にできることは何かと深く考えるきっかけになったこと、やりたいを形にして、わくわくすることの重要性がわかったことなどがあげられました。

### ＼ 受講者からの声／

- ・ 楽しめるまちづくりを学びたいと思います。
- ・ 講師お二人共、楽しむこととおっしゃっていたことが印象的です。
- ・ 地域の課題解決として難しく考えるのではなく、楽しみを見つけ、楽しんでやるのが大切だと感じた。

次回の講座は・・・

「そのときどうする？

防災の基礎を学ぶ」

8月27日(土)14時～16時

## 第2回「そのときどうする？防災の基礎を学ぶ」

令和4年 8 月 27 日(土) 14:00~16:00

講師：防災サポート沖縄 長堂 政美 氏

参加者 12 名

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価(回答数 15 件・無記入 2 件)

	項目	評価
1	うらそえのことが好きだ	4.6
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	4.6
3	地域の課題に興味を持った	4.8
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.8
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.8
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.8

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①災害現場を実際に体験した方のリアルなお話がたいへん役に立ちました。避難所開設について「住民が主人公(自主運営)」という言葉が印象的でした。
- ②NHK さんのアプリ紹介において、「日頃から災害に備える」という視点、改めて大事ななと感じました。「みなさまの安全・安心な暮らしを守ることが NHK の使命の一つ」について、とても感動しました。
- ③市民一人ひとりの防災に関心をもつこと
- ④いざというときのために防災の知識を身に付けておかなければならないと思った。
- ⑤あらためて、自分たちでできる防災を考えるきっかけになり、とても勉強になりました。早速、グッズを購入したいと思います。

##### 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①防災グッズについては、地域公民館等への出前講座が必要と思いました。(生活しているところでお話したほうが効果的。)
- ②キャンプで防災グッズを体験したい。
- ③地域で防災訓練があるときには積極的に参加しようと思います。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。

(自由記入)

- ①『まちゼミ』でまちおこしをしようとしている方々の横顔紹介等、浦添を活性化しようとトライする人々のストーリーが聞きたいです。



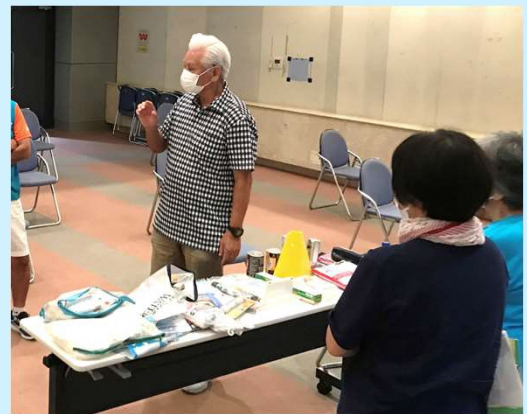
### 【第2回公開講座 そのときどうする？防災の基礎を学ぶ】

令和4年8月27日土曜日の14時から16時まで、浦添市てだこ市民大学第2回公開講座「そのときどうする？防災の基礎を学ぶ」が実施されました。NPO法人 防災サポート沖縄 理事長の長堂政美氏より、「最強クラスの台風への備え」の講演と、NHK沖縄放送局の田島千明氏より、「NHKニュース・防災アプリのご紹介」の講話を賜りました。



### 【最強クラスの台風への備え】

長堂政美氏より、暴風特別警戒警報や大雨特別警戒警報などが発令される基準や過去に起こった台風被害状況などの説明がなされました。なかでも、看板やプレハブ、トタンなどの飛散物によって、二次被害が生じる可能性が指摘されました。それゆえ、最強クラスの台風対策として、暴風来襲以前と、暴風時、暴風後という3つの段階にわけて、それぞれの対策方法についての解説がありました。暴風来襲以前においては、窓ガラスの目張りや、プレハブ・トタン・看板などの固定、側溝の掃除、非常用持出袋の準備、避難所や高齢者・障がい者の共助についての確認があげら



れます。暴風時においては、飛散物などによって自宅の窓ガラスが破壊された場合に対応することが求められます。また、自動車や建物のドアを開けるときに指が挟まれたり、ドアが損傷したりすることがありますので、注意が必要です。暴風が収まって太陽の日差しを感じたとしても、高潮や濁流に飲み込まれてしまうこともありますので、海岸や河川などに行かないことが重要です。この解説のなかで、暴風後の対策があるとは



知らなかったという感想もありました。また、防災グッズの内容と使用方法などについての解説もありました。さらに、高齢者や障がい者を対象とした「災害時避難行動要支援者避難支援」に関する情報収集や、事業所と自主防災組織との防災協定締結の重要性、避難所の自主運営と開設キットの概要など、日頃からの対策に関する解説がありました。

NHK沖縄放送局の田島千明氏より、日頃からアプリを活用することで、正確な情報を収集し「命を守る行動」に繋げてほしいと説明がありました。

#### ＼ 受講者からの声／

・防災グッズについては、地域公民館等への出前講座が必要と思いました。（生活しているところでお話したほうが効果的。）

- ・避難所開設について「住民が主人公（自主運営）」という言葉が印象的でした。
- ・あらためて、自分たちでできる防災を考えるきっかけになり、とても勉強になりました。

次回の講座は・・・

「浦添の悠久の歴史

歴史・文化でまちづくり！」

11月26日(土)14時～16時

## 第3回「地域資源としての浦添の歴史と文化」

令和4年 11月 26日(土) 14:00~16:00

講師:古塚 達朗 氏

参加者 13名

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価(回答数 10件・無記入 0件)

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.7
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.7
3	地域の課題に興味を持った	4.3
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.1
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	3.7
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	3.8

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①浦添の文化財も資産として活用できるようになるといいなと思います。
- ②関連事項の解説がより理解出来た。
- ③疑問のひとつが解けたと思います(牧港の件、源為朝の渡沖縄の件)
- ④パワーポイントの講座に触れている、歴史素人の私には難しい講座でした。
- ⑤浦添城と首里城の関連についてもっと知りたい
- ⑥浦添城跡を核として文化財の位置づけ、今後の展望を、市の発展につながる大きな可能性を感じた
- ⑦古塚先生は話題が豊富、楽しかった。
- ⑧浦添と首里の歴史を比較しながら先生の考えを聞くことができた。
- ⑨大変勉強になりました。浦添城についてももう少し詳しく知りたいと思いました。

##### 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①当山の石畳でフォトウェディング(琉装で)

- ②特に歴史関係は現地での解説であると更に理解出来る。
- ③歴史遺産と歴史資産と命令した発想、とてもよい発想
- ④画像がもっといっぱいあるとよりイメージが広がると思いました。

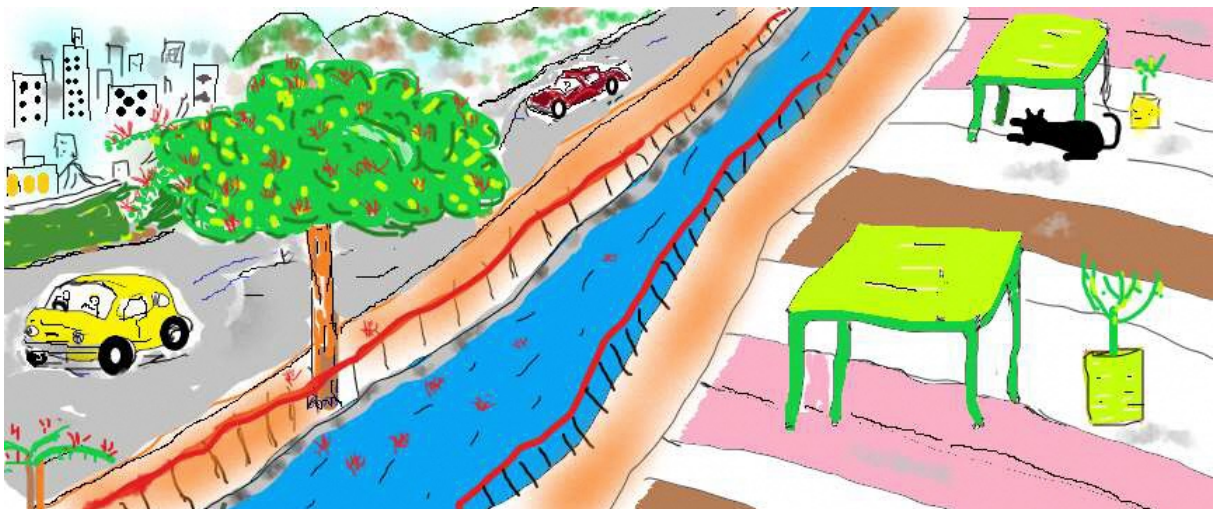
3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。

(自由記入)

- ①首里が京都であれば、浦添は奈良だと思うのですが、そのような観点から観光にむすびつくような企画について
- ②浦添市立小中学校で、文化財の授業導入ができないか？子供達にも浦添の歴史・文化を知らしめたい。
- ③50年、100年先の浦添について
- ④浦添城の歴史について、またやってほしいです。

#### 講師への質問

- ①文化財を所有する地域の方々にその文化財を知ってもらい、ふれてもらう機会を提供することも大切だと思いました。識名園のケース以外にどのようなイベント等が印象に残っていますか。
- ②浦添城跡は首里城のように再現可能？
- ③中山の三山統一前後の状況を聞せ下さい。(古琉球〔中山〕→統一)
- ④尚寧王妃のアオリヤエがようどれに眠っているときいています。なにがそれにまつわるいきさつやエピソードがあればおしえて下さい。



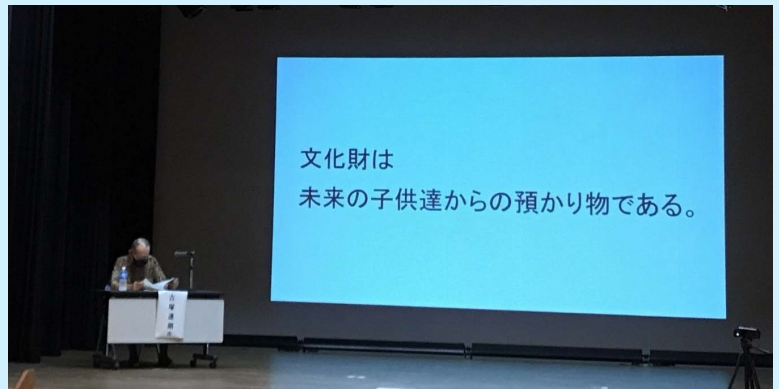
【第3回公開講座 地域資源としての浦添の歴史と文化】

令和4年11月26日土曜日の14時から16時まで、浦添市てだこ市民大学第3回公開講座「地域資源としての浦添の歴史と文化」を実施しました。講師には、琉球歴史文化コンサルティング 代表コンサルタント 古塚 達朗氏(元那覇市市民文化財課長兼歴史博物館長兼壺屋焼物博物館長)をお招きし、浦添市の文化財を地域資源として活用することの可能性についてご講話を賜りました。



【地域資源としての浦添の歴史と文化】

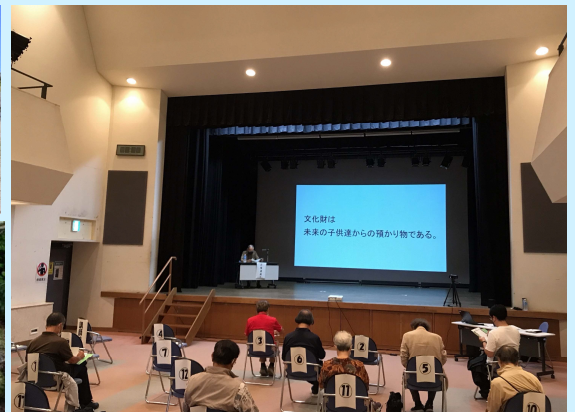
古塚達朗氏より、①牧港テラブのガマ、②浦添グスク跡、③中頭方西海道と安波茶橋、④玉城朝薫の墓などの由来や役割、エピソードなどが語られ、各文化財を地域資源として活用することの可能性についての講話がありました。



最後に「文化財は未来の子供達からの預

かりものである」とし、文化財を歴史遺産ではなく、歴史資産として捉えて、価値を高めて活用していくことの重要性についての話がありました。

参加者の感想としましては、歴史遺産と歴史資産と命名した発想はとてもよいとの感想や、浦添城跡を核として文化財の位置づけ、今後の展望を、市の発展につながる大きな可能性を感じたとの感想もありました。このように、文化財を地域資源として活用し、市民協働による浦添市のまちづくりと発展について考える機会になりました。文化財を通したまちづくりのあり方についての理解が深まりました。



①ようどれの外観(浦添市教育委員会提供) ②ようどれの近影 ③玉城朝薫墓  
④牧港テラブのガマ ⑤安波茶橋 ※特に断りのない限り、古塚達朗氏提供の写真

／ 受講者からの声／

- 浦添と首里の歴史を比較しながら先生の考えを聞くことができた。
- 古塚先生は話題が豊富、楽しかった。

- 浦添の文化財も資産として活用できるようになるといいなと思います。
- 首里が京都であれば、浦添は奈良だと思うのですが、そのような観点から観光にむすびつくような企画。

次回の講座は・・・

「立ち寄りたくなるまちにする！  
～首里城とその周辺を事例に～」  
1月28日(土)14時～16時

## 第4回「立ち寄りたくなるまちにする！首里城とその周辺」

令和5年1月28日(土) 14:00~16:00

講師:輝 広志 氏 / 新里 涼子 氏

参加者 13 名

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価(回答数 10 件・無記入 0 件)

	項目	評価
1	うらそえのことが好きだ	4.6
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.9
3	地域の課題に興味を持った	4.1
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.3
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.0
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	3.4

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①まちづくりは、人と関わりが大事
- ②自分のすんでいる地域を好きになることがとても大切で、まちづくりの一步のように感じました。先生方の熱量がすごいです。ありがとうございました。
- ③参考になりました。
- ④ありがとうございました。
- ⑤沖縄県民として首里城をもっと知り、復興の為に少しずつでも関わりたいと思いました。
- ⑥まずは浦添市の好きどころや良いところを探してみようかなと思いました。

##### 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①浦添城跡の VR
- ②浦添城も復元できればと思う。

##### 3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。(自由記入)

【記入なし】



## 講師への質問

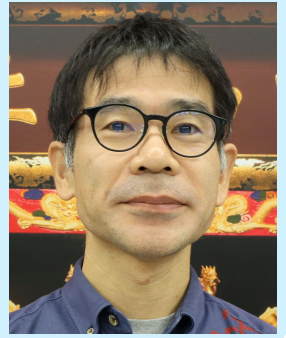
- ①浦添市は観光視点からは少し物足りなさを感じますが、地域振興を専門としている先生から見て、今後注力すべき活動や分野のヒントを教えてください
- ②浦添城復元は難しいですか。



【第5回公開講座 立ち寄りたくなるまちにする！首里城とその周辺】

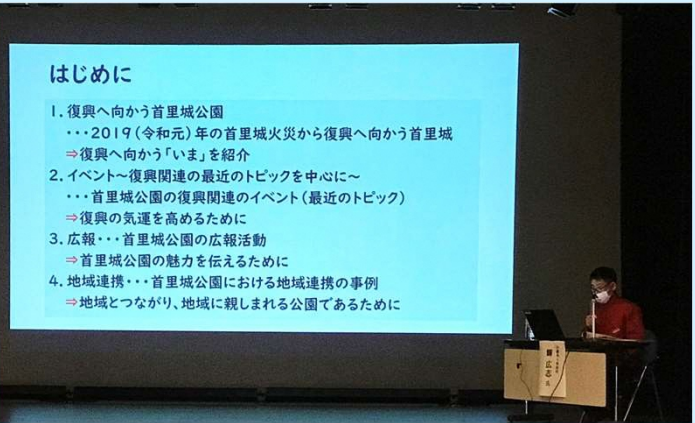


令和5年1月28日土曜日の14時から16時まで、浦添市てだこ市民大学第4回公開講座「立ち寄りたくなるまちにする！」を実施しました。講師には、一般財団法人沖縄美ら島財団の輝広志氏(右)と、首里城友の会理事・株式会社国建の新里涼子氏(左)を講師にお招きし、首里城公園と、その周辺地域の歴史・文化を地域資源として活用するための実践的方法について、ご講話を賜りました。



【復興へ向かう首里城公園】輝広志氏より、

①指定管理者として焼失後の首里城復興への取組や、②復興関連のイベント、③広報、④地域連携という観点から、首里城公園のあり方が語られました。そのなかで、行政と、指定管理者(事業所)、地域住民が連携していくことの実践的な活動が報告され、市民協働のありかたについての理解が深まりました。



【首里城と首里地域のまちづくり】新里涼子氏より、

組織としても、個人としても、首里地域のまちづくりのありかたについて、「首里かわらばん」との広報誌や、「綾門大綱復興・ゆいフェスティバル」とともに、首里城周辺のまち歩きを取組などに関する実践的な活動報告がなされました。最後に、「立ち寄りたくなるまち」として、「地域が持つ魅力や価値を『自分ごと』として理解することや「様々な人々がつながり、ワクワクするような活動ができること！」などが掲げられました。将来的に



浦添市を立ち寄りたくなるまちにするための先行事例として学ぶことができました。

＼ 受講者からの声／

- ・まちづくりは、人と関わりが大事
- ・地域づくりには、その地域を愛すること、そして活性化したいという気概が必要なことがわかりました。先生方から学ぶことの多い講座でした。ありがとうございます。
- ・自分のすんでいる地域を好きになることがとても大切で、まちづくりの一步のように感じました。先生方の熱量がすごいです。
- ・沖縄県民として首里城をもっと知り、復興の為に少しずつでも関わりたいと思いました。
- ・まずは浦添市の好きなお店や良いところを探してみようかなと思いました。

令和4年度浦添市てだこ市民大学公開講座は、今回で終了しました。ありがとうございました。令和5年度の公開講座につきましては、決まり次第ご連絡いたします。次年度も、どうぞよろしく願いいたします。

## 浦添市てだこ市民大学実施要綱

(令和3年3月11日市民部長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、まちづくり生涯学習と市民協働の推進を図るため、市民が地域の資源及び課題並びに地域の課題解決に向けた市民協働の取組についてともに学ぶ講座を開設する浦添市てだこ市民大学(以下「市民大学」という。)の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(講座)

第2条 市民大学の講座(以下「講座」という。)は、定期講座又は公開講座とする。

2 講座の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) うらそえの地域の資源及び課題に関すること。
- (2) 地域の課題解決に向けた市民協働の取組に関すること。
- (3) その他まちづくり生涯学習と市民協働の推進に資すると認められること。

(対象者)

第3条 講座の対象者は、本市のまちづくり生涯学習及び市民協働に関心のある者とする。

2 市内に住所を有しない者が定期講座の受講を希望するときは、本市のまちづくりに取り組む意欲のある者を対象者とすることができる。

(定期講座の受講手続)

第4条 定期講座の受講を希望する者は、次の事項を記載した受講申込書を市長に提出するものとする。

- (1) 氏名
- (2) 生年月日
- (3) 住所
- (4) 電話番号及びメールアドレス
- (5) 講座で学びたいこと及び市民協働により取り組みたいこと
- (6) その他受講にあたって必要な事項

2 市長は、前項の受講申込書を提出した者が前条の要件に該当すると認めるときは、受講を決定するものとする。

(受講料)

第5条 市長は、市民大学の運営に必要な経費の一部を受講料として徴収することができる。

2 受講の決定を受けた者(以下「受講者」という。)は、受講料を市長が指定する日までに納付するものとする。

3 受講料は、受講者が講座を受講しない場合においても、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(受講決定の取消し)

第6条 市長は、受講者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、受講の決定を取り消すことができる。

(1) 受講者が受講料を納付しないとき。

(2) 虚偽の申込により受講の決定を受けたとき。

(3) 他の受講者の迷惑となる行為のあったとき。

(4) その他受講の決定を取り消すことがやむを得ない事情があるとき。

(受講証書の交付)

第7条 市長は、定期講座の受講を終えた者に対し、受講証書を交付するものとする。

(実施報告)

第8条 市長は、市民大学の実施状況について、適宜に、浦添市まちづくり生涯学習推進本部及び浦添市まちづくり生涯学習推進協議会に報告するものとする。

(学長及び運営支援サポーター)

第9条 市民大学の学長は、市長をもって充てる。

2 学長は、講座に参加することができる。

3 市長は、市民大学の運営を支援するため、運営支援サポーターを置くことができる。

(庶務)

第10条 市民大学の運営に関する事務は、市民部市民協働・男女共同参画課において処理する。

(委託)

第11条 市長は、市民大学の運営の全部又は一部を委託することができる。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、定期講座の期間、定員、内容、受講手続及び受講料の額並びに公開講座の内容その他市民大学の運営に関し必要な事項は、その都度、別に定める。

附 則(令和3年3月11日市民部長決裁)

この要綱は、令和3年3月12日から施行する。

## 令和4年度 浦添市てだこ市民大学実施要領

令和4年4月13日市民部長決裁

この要領は、浦添市てだこ市民大学実施要綱(令和3年3月11日市民部長決裁)第12条に基づき、令和4年度てだこ市民大学の公開講座の内容その他市民大学の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

### 1 期間

講座の期間は、令和4年7月から令和5年1月までとし、公開講座のみとする。

### 2 定員

公開講座の定員は、1回につき20人とする。

### 3 テーマ・目的等

テーマ 「市民とともに考えるまちづくりうらそえ」

講座の目的	講座の達成目標
① 協働によるまちづくりを学ぶ(その1)	協働によるまちづくりを学び、当事者意識をもつ
② まちの安全を考える	まちの安全を考える機会を設けることでまちづくり生涯学習のきっかけをつくる
③ 「うらそえ」のまちを知る	うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く
④ 協働によるまちづくりを学ぶ(その2)	協働によるまちづくりを学び、当事者意識をもつ

※受講者の目標達成状況をアセスメント(表1)により把握する。

ただし、オンライン上でのアセスメントについては表1の内容を適切な方法により実施する。

#### 4 内容及び日程

公開講座の内容及び日程等は、表2のとおりとする。

ただし、日程及び内容等の詳細については、講師との調整等により、適宜、変更するものとする。また、原則として集合型とするが、新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、動画配信ないしはZoomによる開催も、その都度検討することとする。

#### 5 受講手続

- (1) 受講申込書の様式は、浦添市てだこ市民大学受講申込書（様式1）とする。  
ただしオンライン上での受講申込に係る個人情報の収集項目等については、様式1と一致させるものとする。
  
- (2) 受講申込期間は、原則として各講座実施日の2週間前までとする。  
ただし、期間後に受講申込があった場合において、講座の運営に支障が無いと認められるときは、講座の受講を決定することができる。

#### 6 受講料

受講料は、1講座500円とする。

表1 令和4年度 浦添市てだこ市民大学のアセスメントシート

アセスメント項目の問いについて、次の基準で評価点数にチェックしてください。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

項目		5	4	3	2	1
まちづくり協働について						
1	うらそえのことが好きだ					
2	うらそえの将来像をイメージすることができる					
3	地域の課題に興味を持った					
4	地域の課題は自分のことだと感じる					
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う					
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい					
講座内容について						
1	今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)					
2	今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)					
3	今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。(自由記入)					

表2 令和4年度 浦添市てだこ市民大学の講座内容と日程

回	日時	講座内容		受講方法
1	2022年 7月	基礎講座 ①学長講話  ②『みんなの浦添のために “私が”できることを考えよう』	○浦添の姿を知る。 ○浦添の将来像を知る。 ※学長講話のタイトルは令和3年度と同じだが、内容は未定 ○市民がまちづくりに携わることの重要性を知る。 ○“まちづくりの主役は市民”である認識を持つ。	集合型
2	2022年 8月	『その時どうする！浦添での防災の基礎とマニュアル作成講座』	○日頃の防災意識の向上を図る。 ○台風／竜巻／津波／地震などの対処法や防災グッズのことを知る。 ○防災マニュアルを作成するための考え方を学び、実際に作成する。 ○浦添市民活動（シンコペーション）を紹介する。	集合型
3	2022年 10月	『てだこのまち浦添 誕生秘話』	○浦添がどのように誕生し、発展を遂げたか、過去を振り返る。 ○文化遺産に触れ、地域資源の保全と活用に繋げ、まちづくりへの活用の一助とする。 ○市内の文化遺産を訪ねて、まちづくりのありかたについての企画案を作ってみる。 ○浦添市民活動（うらおそい歴史ガイド友の会）を紹介する。	集合型
4	2023年 1月	『立ち寄りたくなるまちにする！ -南城市のまちづくり事例から- 』	○沖縄県内で観光産業とまちづくりで成功した地域の取り組みを学び、浦添のまちづくりに活かす。 ○浦添市観光協会の試みを紹介する。 ○地域課題を観光産業で解決できる人材を育成する。	集合型

※日程や内容は、変更する場合があります。

※集合型での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、受講方法を変更する場合があります。



## 浦添市てだこ市民大学受講申込書

申込日： 年 月 日

フリガナ	
氏名	
メールアドレス	
住所	
電話番号	
受講申込講座	<input type="checkbox"/> 第 1 回 <input type="checkbox"/> 第 2 回 <input type="checkbox"/> 第 3 回 <input type="checkbox"/> 第 4 回
講座情報入手先	<input type="checkbox"/> 広報うらそえ <input type="checkbox"/> チラシ・ポスター <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> 浦添市のホームページ <input type="checkbox"/> その他( )
自由記入欄	(受講目的・講師への質問など)
<p>①【本市ホームページ等における、個人情報の公開に関して】</p> <p>講座実施中の画像について、本市ホームページ等に公開する可能性があります。 ご自身の情報について、以下にチェックをお願いします。</p> <p><u>◎本市ホームページ等へ名前や画像の公開について</u></p> <p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/>同意します <input type="checkbox"/>同意しません</p> <p>②【Zoom 講座中における、画像等の公開に関して】</p> <p>Zoom 講座実施中、受講生の名前と画像は、原則、画面上に公開されます。ご自身の情報について、以下にチェックをお願いします。</p> <p><u>◎Zoom 講座中の名前や映像の公開について</u></p> <p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/>同意します <input type="checkbox"/>同意しません</p> <p>上記①及び②について、チェックがない場合は、同意しないものと判断いたします。</p>	

※新型コロナウイルスの感染状況によってオンライン(Zoom)講座になる場合もあります。

## 浦添市てだこ市民大学沿革

本市は、市民一人ひとりの学習の成果を本市のまちづくりに活かせる社会、また、多様な学習を通して、まちづくりに関われる社会の実現をめざしています。その理念の下、第三次浦添市総合計画(平成13年～22年)の重点施策として市民大学構想が実現し、4学部、2ヶ年制の市民対象の大学として平成20年10月に開学、平成21年5月に1期生が入学し、現在に至っています。

本市民大学は、「学習してきた成果を地域社会や学校教育等に還元していく」ことを理念とし、キーパーソン、リーダーとして、これからのまちづくりに寄与できる人材を育成することを目的とし、第四次総合計画(平成23年～32年)では、「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」に取り組むことがより重要とされ、協働のまちづくりに向け本市民大学の担う役割は、さらに重要性を増しております。

令和元年度より、本市民大学は制度および講義内容を見直し、「市民協働によるまちづくり」の学びを充実して参りました。

卒業生及び受講された皆さんは、延べ363名となりました。卒業後は、自治会の役員、市社会教育指導員、学校支援地域本部事業コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター、スポーツ推進委員、青少年健全育成市民会議事務局員、各種審議会、各種団体(市PTA連合会、市婦人連合会、市子ども会育成連絡協議会、市民生委員・児童委員連絡協議会、人権擁護委員、行政相談員)等の役員・委員等、各分野で活躍しています。

### 【 経 過 】

平成19年11月29日(土) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」に「市民大学」開学を諮問

平成20年7月31日(木) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」より浦添市てだこ市民大学の開学展開について答申

平成20年10月18日(土) 浦添市てだこ市民大学 開学

学長：儀間光男(市長) 副学長：西原廣美(教育長)

4学部・2年制 コミュニティビジネス・地域振興 学部、健康福祉・スポーツ振興学部、文化振興・教養学部、地域・学校支援コーディネーター養成学部(事務局を浦添市教育委員会生

涯学習振興課に置く)

- 平成21年 5月10日(日) 第1期生 入学式(4学部・66名)
- 平成22年 5月9日(日) 第2期生 入学式(4学部・43名)
- 平成23年 3月17日(木) 第1期生 卒業研究発表会
- 3月20日(日) 第1期生 卒業式(4学部・47名)
- 5月15日(日) 第3期生 入学式(4学部・48名)
- 10月 副学長 津波清(教育長) 就任
- 平成24年 3月11日(日) 第2期生 卒業研究発表会
- 3月18日(日) 第2期生 卒業式(4学部・38名)
- 5月13日(日) 第4期生 入学式(4学部・48名)
- 平成25年 2月 学長 松本哲治(市長) 就任
- 3月10日(日) 第3期生 卒業研究発表会
- 3月17日(日) 第3期生 卒業式(4学部・36名)
- 5月19日(日) 第5期生 入学式(4学部・41名)
- 6月 副学長 池原寛安(教育長) 就任
- 平成26年 3月2日(日) 第4期生 卒業研究発表会
- 3月16日(日) 第4期生 卒業式(4学部・37名)
- 5月18日(日) 第6期生 入学式(4学部・38名)
- 平成27年 3月1日(日) 第5期生 卒業研究発表会
- 3月15日(日) 第5期生 卒業式(4学部・29名)
- 3月 地域・学校支援コーディネーター養成学部を地域・学校支援学部  
へ名称変更
- 6月14日(日) 第7期生 入学式(3学部(コミュニティビジネス・地域振興学  
部は休部)・28名)
- 平成28年 2月28日(日) 第6期生 卒業研究発表会
- 3月13日(日) 第6期生 卒業式(4学部・26名)
- 4月25日(月) 第8期生 入学式(3学部(地域・学校支援学部は休部)・20名)
- 平成29年 2月25日(日) 第7期生 卒業研究発表会
- 3月12日(日) 第7期生 卒業式(3学部・22名)
- 4月21日(金) 第9期生 入学式(コミュニティビジネス・地域振興学部・11  
名)
- 5月 副学長 嵩元盛兼(教育長) 就任

平成30年 2月24日(土) 第8期生 卒業研究発表会  
 3月10日(土) 第8期生 卒業式(3学部・12名)  
 4月2日(月) 学部制を廃止し、修学期間を1年とする  
 事務局を市民部市民協働・男女共同参画課へ移管  
 5月17日(木) 第10期生 開講式(20名)  
 平成31年 2月16日(土) 第9期生 卒業式・卒業研究発表会(1学部・4名)  
 第10期生 卒業式(16名)  
 3月3日(日) 浦添市てだこ市民大学開学10周年記念式典・同窓会  
 令和元年 5月23日(木) 令和元年度開講式(14名)  
 9月28日(土) 令和元年度閉講式(受講証交付者13名)  
 令和2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期  
 9月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止  
 令和3年 1月16日(土) 性の多様性の尊重についての講演会 ※動画配信  
 令和3年 6月26日(土) 令和3年度第1回公開講座開催  
 令和3年 8月28日(土) 令和3年度第2回公開講座開催  
 令和3年 10月23日(土) 令和3年度第3回公開講座開催  
 令和4年 1月22日(土) 令和3年度第4回公開講座開催  
 令和4年 7月9日(土) 令和4年度第1回公開講座開催  
 令和4年 8月21日(土) 令和4年度第2回公開講座開催  
 令和4年 11月26日(土) 令和4年度第3回公開講座開催  
 令和5年 1月28日(土) 令和4年度第4回公開講座開催



【期ごと卒業生又は受講者の状況】

単位：人

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	R元	R2	R3	R4	合計
期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
人数	47	38	36	37	29	26	22	12	4	16	13		83	64	427

- \* 第1期から第10期までは卒業生、令和元年度から令和3年度は受講者の人数です。
- \* 第1期から第9期までは2年制、第10期は1年制です。
- \* 令和2年度は国および県によるコロナの緊急事態宣言のため、受講者はいません。
- \* 令和3年度以降は公開講座のみ開催。